

コットンウェイ 真岡鐵道



表紙写真提供：三島木 隆
撮影：茂木駅～天矢場駅間、2018年1月

真岡鐵道は、茨城県筑西市(下館駅)から栃木県茂木町(茂木駅)を結ぶ、営業キロ41.9kmの単線非電化のローカル線です。真岡鐵道は別名「コットンウェイ」と呼ばれていますが、同地域が江戸時代から木綿(cotton)の産地として有名であったことによるものだと言われています。

真岡線が下館駅から茂木駅まで開通したのは1920年。50年前の1970年の交通公社の時刻表を見ると、真岡線の列車は、基本は水戸線へ直通し小山駅で折り返すものとなっていました。その後の旅客数の減少から、1984年9月には第2次廃止対象特定地方交通線として廃止承認されるに至っています。

鉄道路線は「生活の足」として維持を望む地域の声を受け、こうした流れを止めるべく、1988年4月11日から、沿線の地方公共団体等が出資し設立された会社が鉄道事業者となり運行する方式(第三セクター方式)に生まれ変わり、現在に至っています。

真岡鐵道ではこうした中で、利用客増加と沿線の地域振興を目的として、1994年3月から、土日祝日を中心に蒸気機関車牽引による定期旅客列車の運転が開始され、今では、全国各地から鉄道ファンが押し寄せる「SLが走る真岡線」として有名な路線となっています。

現在、真岡鐵道では、蒸気機関車「C12-66」が運転され、2019年度中では117日の運転日が計画されています。

表紙の写真は、2018年1月の写真ですが、真岡鐵道では毎年正月の最初の運転日には、写真のように日章旗を付けた運転が行われています。2020年1月の運転予定を見ると4日と5日に運転日が設定されています。

是非、蒸気機関車の雄姿をご覧になるために、真岡鐵道を訪問されてはいかがでしょうか。



◆撮影場所：「道の駅もてぎ」周辺
(栃木県芳賀郡茂木町大字茂木1090-1)

◆真岡鐵道真岡線
始発：茨城県筑西市乙(下館駅)
終点：栃木県芳賀郡茂木町大字茂木1499-2(茂木駅)

◆SL運行日 毎週土・日・祭日
「道の駅もてぎ」通過時刻
12:00頃(12:02茂木駅着)
14:30頃(14:28茂木駅発)